

記入例

申請書（申請者に関する情報）協力金4/12～4/24

様式1

京都府知事 西脇 隆俊 様

(申請日) 令和3年 ● 月 ● 日

受付番号 ※

※受付番号は、記入しないでください。

申請者に関する情報	申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業主 (※いずれかにチェック)		<input type="checkbox"/> 大企業 <input checked="" type="checkbox"/> 中小企業等 (※いずれかにチェック)									
	フリガナ	カブシキカイシャ ○○○○○○○○○											
	法人名	株式会社 ○○○○○											
	フリガナ	○○○○○○○											
	【法人】代表者役職・氏名 【個人】氏名	代表取締役社長 ○○○○											
	法人代表者・個人生年月日	S:昭和	H:平成	35	年	2	月	1	日				
	【法人】所在地 【個人】自宅住所	〒	6	0	2	8	5	7	0	京都	都・道・府・県	京都	市・区・町・村
		上京区○○通○○西入○○町11-11 ○○ビル3階 ※番地や建物名まで記載してください											
	電話番号	075-○○○-○○○○			担当者名	○○○○							
	担当者電話番号	075-○○○-△△△△			連絡先メールアドレス	aaaaa@aaaaaaaa.co.jp							
常時使用する従業員数(人)	25			人	資本金額※	10,000,000			円				
法人番号※	99999999999999												

※資本金額及び法人番号は、申請者が法人の場合に記入してください。

申請する店舗数	2	店舗
---------	---	----

※様式1-1に、施設ごとの情報を記載してください。

申請書（施設に関する情報） 協力金4/12～4/24

様式1-1

法人名又は
個人事業主名

株式会社 ○○○○

記入例

↓ 該当するものに必ずチェックしてください。4期の申請をされた方は4で始まる7桁の受付番号を記載してください。

対象地域

<input type="checkbox"/>	本施設は、(1)感染症拡大防止協力金(令和2年12月21日～令和3年1月11日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(2)感染症拡大防止協力金(令和3年1月12日、1月13日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(3)緊急事態措置協力金(令和3年1月14日～2月7日)に申請済みです。	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(4)緊急事態措置協力金(令和3年2月8日～2月28日)に申請済みです。	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(5)感染症拡大防止協力金(令和3年3月1日～3月14日)に申請済みです。	京都府全域※
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(6)感染症拡大防止協力金(令和3年3月15日～3月21日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(7)感染症拡大防止協力金(令和3年4月5日～4月11日)に申請済みです。	京都市内
<input type="checkbox"/>	本施設は、上記協力金のいずれにも申請を行っていません。	※京都市以外は3/7まで

フリガナ	レストランサンカク		
施設名称 (店舗名等)	レストラン△△△△		
営業許可番号	京保セ第○○○号	営業許可証の有効期限	(元号) 令和3年8月31日
所在地	〒 00000000	京都府	施設コード(P8参照)
	○○区○○町○○番地 ○○○ビル○階101		1 1 0 1
	※番地、ビル名、階、部屋番号まで記載してください。		飲食店
施設電話番号	075-0000	※施設の種類を具体的に記入してください。	

時短要請の対応状況

酒類の提供 酒類は提供していない。 酒類の提供は午前11時から午後7時までに短縮している。

要請期間中(2021/4/12～4/24)の営業日及び営業時間

4月												協力日数	時短営業する場合の 営業時間	
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			24
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	9 日	17:00 ~ 20:00
○	○	定	○	○	定	○	○	○	定	○	○	定		

時短要請に応じた日(終日休業した日を含む)に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。
もともと20時までに閉店する日は空欄にしてください。
「○」の合計数を協力日数欄に記入してください。

前年(4/13～4/25)又は前々年(4/15～4/27)の営業日数等

営業日数	定休曜日	通常の営業時間
9 日	水、土 曜日	17:00 ~ 23:00

前年又は前々年の4/12～4/24の期間中における営業日数を記入してください。

4月12日(月)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。

記載欄	
-----	--

前年(4/13～4/25)又は前々年(4/15～4/27)と要請期間の営業日数が異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。

理由書(様式4)を提出します。

複数施設(店舗)を申請する場合、「様式1-1」をコピーして各施設(店舗)に関する情報(1施設(店舗)につき1枚ずつ)を記入してください。添付書類(「別表2」⑦～⑬)の表紙として使用し、1施設(店舗)ごとに提出書類をまとめて提出するようにしてください。「○○屋四条店」など、どの施設(店舗)か分かるように記載してください。

P12「協力金支給額フローチャート」【1】の場合

記入例

支給額は1日当たり4万円です。

$$40,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline 9 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline 360,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は平成31年の4月の売上高計} \\ \hline \text{① } 5,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 30 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は平成31年の4月の1日当たり売上単価} \\ \hline \text{② } 166,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

千円未満切上

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{②で算出された売上単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切上げ前の支給単価} \\ \hline \text{③ } 66,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

千円未満切上

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 67,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※最大10万円

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 67,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline \text{⑤ } 9 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑥ } 603,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は平成31年の4月の売上高} \\ \hline \text{① } 10,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年4月の売上高計} \\ \hline \text{② } 2,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年4月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※ p12「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年4月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 30 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり売上高減少単価} \\ \hline \text{④ } 266,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{④で算出された売上高減少単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切上げ前の支給単価} \\ \hline \text{⑤ } 106,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

千円未満切上

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 107,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※最大20万円

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 107,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline \text{⑦ } 9 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑧ } 963,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

月別売上高が分からない場合、年間売上高を用いて申請することもできます。

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式） **記入例**

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。（令和2年2月29日が含まれる場合は366日）

令和2年又は平成31年の年間売上高計	① 60,000,000 円	÷	365日	=	令和2年又は平成31年の1日当たり売上単価	② 164,384 円
--------------------	----------------	---	------	---	-----------------------	-------------

※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

②で算出された売上単価	× 0.4 =	千円未満切上げ前の支給単価	③ 65,753 円	千円未満切上	1日当たり支給単価	③ 66,000 円
-------------	---------	---------------	------------	--------	-----------	------------

※最大10万円

1日当たり支給単価	③ 66,000 円	×	時短協力日数	④ 9 日	=	当該店舗の支給額	⑤ 594,000 円
-----------	------------	---	--------	-------	---	----------	-------------

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和2年又は平成31年の年間売上高計	① 120,000,000 円	÷	365日	=	令和2年又は平成31年の1日当たり売上高	② 327,868 円
--------------------	-----------------	---	------	---	----------------------	-------------

いずれかに○をつけてください。（令和2年2月29日が含まれる場合は366日）

令和3年4月の売上高計	③ 1,000,000 円	÷	30日	=	令和3年4月の1日当たり売上高	④ 33,333 円
-------------	---------------	---	-----	---	-----------------	------------

令和2年又は平成31年の1日当たり売上高	② 327,868 円	-	令和3年4月の1日当たり売上高	④ 33,333 円	=	1日当たり売上高減少額	⑤ 294,535 円
----------------------	-------------	---	-----------------	------------	---	-------------	-------------

1日当たり売上高減少額	⑤ 294,535 円	× 0.4 =	千円未満切上げ前の支給単価	⑥ 117,814 円
-------------	-------------	---------	---------------	-------------

千円未満切上

※ p12「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。

1日当たり支給単価	⑦ 118,000 円
-----------	-------------

※最大20万円

1日当たり支給単価	⑦ 118,000 円	×	時短協力日数	⑧ 9 日	=	当該店舗の支給額	⑨ 1,062,000 円
-----------	-------------	---	--------	-------	---	----------	---------------

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

令和2年4月2日以降に開店した店舗については、開店日から令和3年3月31日までの売上高を用いて申請することもできます。

開店日： 令和 2年 7月 1日 記入例

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年3月末までの売上高 45,000,000 円	÷	①の日数 274 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上単価 164,234 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。				
開店日から令和3年3月末までの日数を記入してください。				
②で算出された売上単価 × 0.4 =	③ 65,693 円	千円未満切上	③ 66,000 円	1日当たり支給単価
※最大10万円				
③ 1日当たり支給単価 66,000 円	×	④ 時短協力日数 9 日	=	⑤ 当該店舗の支給額 594,000 円
※様式1-1に記載の日数				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年3月末までの売上高 90,000,000 円	÷	①の日数 274 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上高 328,467 円
開店日から令和3年3月末までの日数を記入してください。				
③ 令和3年4月の売上高計 1,000,000 円	÷	30 日	=	④ 令和3年4月の1日当たり売上高 33,333 円
② 開店日以降の1日当たり売上高 328,467 円	-	④ 令和3年4月の1日当たり売上高 33,333 円	=	⑤ 1日当たり売上高減少額 295,134 円
⑤ 1日当たり売上高減少額 295,134 円	×	0.4	=	⑥ 千円未満切上げ前の支給単価 118,054 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。				
↓ 千円未満切上				
⑦ 1日当たり支給単価 119,000 円				
※最大20万円				
⑦ 1日当たり支給単価 119,000 円	×	⑧ 時短協力日数 9 日	=	⑨ 当該店舗の支給額 1,071,000 円
※様式1-1に記載の日数				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				